

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 27 年 4 月 16 日 (2015.4.16)

【公表番号】特表 2014-514137 (P2014-514137A)
 【公表日】平成 26 年 6 月 19 日 (2014.6.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-032
 【出願番号】特願 2013-556780 (P2013-556780)
 【国際特許分類】

B 0 1 D 53/04 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D	53/04	B
B 0 1 D	53/04	F

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 23 日 (2015.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スイング吸着接触器システムであって、

各々が内面及び軸方向開口端部を備えた複数個の中空剛性ライナであって、隣り合うライナは、互いにしっかりと連結されている中空剛性ライナと、

各ライナ内に設けられたモノリス吸着剤接触器であって、各モノリス吸着剤接触器が前記ライナの前記内面から間隔を置いて位置した外面を有するモノリス吸着剤接触器と、

前記モノリス吸着剤接触器の外面と前記ライナの内面との間の空間内に設けられ前記空間内のガス流を阻止するシールを形成する結合剤とを備えている、

ことを特徴とするスイング吸着接触器システム。

【請求項 2】

前記モノリス吸着剤接触器は、少なくとも 2 つのモノリス吸着剤接触器のスタックを備え、

前記スタックは、好ましくは、2 つの前記モノリス吸着剤接触器の隣り合う軸方向端部の周りでテープによって互いに保持されている、

請求項 1 に記載のスイング吸着接触器システム。

【請求項 3】

各ライナは、前記ライナの各軸方向端部から軸方向に突き出た一体形スタンドオフを有する、

請求項 1 に記載のスイング吸着接触器システム。

【請求項 4】

前記結合剤は、硬化可能であり、

前記硬化可能な結合剤は、好ましくは、硬化時では半剛性である、

請求項 1 に記載のスイング吸着接触器システム。

【請求項 5】

スイング吸着接触器システムを組み立てる方法であって、

複数個の中空剛性ライナを互いにしっかりと連結するステップであって、前記ライナの各々が内面及び軸方向開口端部を有しているステップと、

モノリス吸着剤接触器を各ライナ内に配置するステップであって、各モノリス吸着剤接

触器が外面を有し、前記配置ステップが、各モノリス吸着剤接触器の前記外面を前記ライナの内面から間隔を置いて配置するステップを備えている配置ステップと、

結合剤を前記モノリス吸着剤接触器の前記外面と前記ライナの前記内面との間の空間内に配置して前記空間内にガス流を阻止するシールを形成するステップとを、備えている、ことを特徴とする方法。

【請求項 6】

前記結合剤は、硬化可能であり、

前記硬化可能な結合剤を半剛性材料の状態に硬化させるステップを更に備えている、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

スイング吸着容器は、前記複数個の中空剛性ライナを受け入れるハウジングを有し、前記方法は、

蠟の保護リングを前記ハウジング内にそのベースのところに配置し、その後、前記複数個の中空剛性ライナをハウジング内に配置して前記蠟のリングが変形して前記モノリス吸着剤接触器の前記外面と各ライナの前記内面との間の前記空間の底部を封止するようにするステップを更に備えている、

請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記結合剤配置ステップの実施前に、蠟の保護層を各モノリス吸着剤接触器の軸方向頂端部上に配置するステップを更に備えている、

請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記硬化性結合剤を半剛性材料の状態に硬化させるステップの実施後に、各モノリス吸着剤接触器の前記軸方向頂端部上の前記蠟の保護層と前記ハウジング内の前記蠟の保護リングの両方を溶融するステップを更に含む、

請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

複数個の中空剛性ライナを備え、各ライナは、内部領域を画定する内面、長手方向軸線に沿う第 1 の軸方向開口端部、前記第 1 の軸方向開口端部と反対側の前記長手方向軸線に沿う第 2 の軸方向開口端部及び前記内部領域の外側に位置する外面を有し、

複数個のモノリス吸着剤接触器を備え、前記複数個のモノリス吸着剤接触器のうちの 1 つは、前記複数個のライナのうちの 1 つの中に設けられ、前記 1 つのモノリス吸着剤接触器は、長手方向軸線に沿って少なくとも 1 本の通路が貫通して形成された本体及び前記本体の外面を有し、

前記モノリス吸着剤接触器の前記外面と前記ライナの内面との間に設けられていて、前記モノリス吸着剤接触器と前記中空剛性ライナとの間のガス流を阻止する結合剤を備えている、

請求項 1 に記載のスイング吸着接触器システム。

【請求項 11】

前記複数個のモノリス吸着剤接触器のうちの 2 つ又は 3 つ以上は、前記複数個の中空剛性ライナのうちの 1 つの中に同一長手方向軸線に沿って互いに積み重ねられている、

請求項 10 に記載のスイング吸着接触器システム。

【請求項 12】

互いに隣接して位置する前記複数個の中空剛性ライナのうちの 2 つ又は 3 つ以上は、互いにしっかりと連結されている、

請求項 10 に記載のスイング吸着接触器システム。

【請求項 13】

少なくとも 1 つのライナが、前記ライナの各軸方向端部から軸方向に突き出た一体形スタンドオフを有する、

請求項 10 に記載のスイング吸着接触器システム。

【請求項 14】

スイング吸着接触器システムを組み立てる方法であって、

複数個の中空剛性ライナを用意するステップを含み、各中空剛性ライナは、内部領域を画定する内面、長手方向軸線に沿う第1の軸方向開口端部、前記第1の軸方向開口端部と反対側の前記長手方向軸線に沿う第2の軸方向開口端部及び前記内部領域の外側に位置する外面を有し、

複数個のモノリス吸着剤接触器のうちの1つを前記複数個の中空剛性ライナのうちの1つ内に配置するステップを含み、前記1つのモノリス吸着剤接触器は、長手方向軸線に沿って少なくとも1本の通路が貫通して形成された本体及び前記本体の外面を有し、

前記複数個のモノリス吸着剤接触器の前記1つを前記複数個の中空剛性ライナのうちの前記1つに前記モノリス吸着剤接触器の前記外面と前記中空剛性ライナの前記内面との間に設けられた結合剤により結合するステップを含み、前記結合剤は、前記モノリス吸着剤接触器と前記中空剛性ライナとの間の流体の流れを阻止する、

請求項5に記載の方法。

【請求項 15】

前記複数個の中空剛性ライナのうちの2つ又は3つ以上を互いにしっかりと連結するステップを更に含む、

請求項14に記載の方法。